

「未来へつながろう！豊かな
～みんなでつなぐ 未来へのバトン～」



◀九重町HP

総合計画の詳細は九重町ホームページからご覧いただけます。

九重町第5次総合計画がスタート！

I 第5次総合計画の策定にあたって

1. 計画策定の目的

本町では、平成23年度（2011年度）に「九重町第4次総合計画」を策定し、各種施策に取り組んできました。現在、人口減少・少子高齢化による人口構造の変化や社会経済情勢の変化が進む中で、安心・安全を推進し、まちの活力を維持・向上させ、人が輝き誰もが「暮らし続けたい」と思えるまちづくりを進める必要があります。そのため、九重町の将来像とそれを実現するまちづくりの方向性を明らかにするべく「九重町第5次総合計画」を策定するものです。

2. 計画の構成、期間

総合計画は、本町のめざすべき将来像やまちづくりの目標などを示す「基本構想」、基本構想で掲げる目標・将来像の実現に向けた施策の目標と具体的な事業展開の方向性を定める「基本計画」、基本計画に定めた施策を計画的に実施するために必要な事業を明らかにした「実施計画」により構成されます。基本構想は、今年4年度（2022年度）から10年間を計画期間とします。また基本計画については、5年間を計画期間とし、前期・後期と分けて事業を展開していきます。

※実施計画は毎年度ローリングで見直しを実施。

II 基本構想の内容

① まちの将来像

「未来へつながろう！豊かなところと癒やしの自然」
～みんなでつなぐ 未来へのバトン～

第5次総合計画は、行政だけでなく、住民の皆様が参画いただけるよう多様な機会を設けながら策定しました。第5次総合計画で掲げる、「『未来へつながろう！豊かなところと癒やしの自然』～みんなでつなぐ 未来へのバトン～」という九重町の将来像も、住民アンケートと中学生アンケートをもとに描きました。

現在、「ないものさがし」から「あるものさがし」へ考え方をシフトすることが、持続可能なまちづくりに向けて求められています。住民の皆様とともに「あるものさがし」の目で見つけた、人と人の関係性や先達より受け継がれてきたモノを慈しむ「豊かなところ」、そして人を包み込む「癒やしの自然」をしっかりと引き継ぎ、未来（次世代）へとつないでいきましょう。



② まちづくりの基調

将来像実現を支える横の柱

将来像の実現に向けて、分野横断的な視点としての基調を設定しています。

（1）みんなでつくるところ豊かで、しなやかなまち

→住民を主役として、地域、団体、行政等すべてが、社会・経済の様々な環境変化にも耐え得るしなやかなまちづくりを推進します。

（2）「ひと・モノ・お金」が循環し、活力あふれるまち

→地場産業の育成を図り、地域資源を活用して稼げる、足腰の強い産業を創造し、持続可能な活力あふれるまちづくりを推進します。

（3）笑顔があふれ、安心して暮らし続けられるまち

→豊かな自然環境を保全しながらも、道路や河川を管理し、災害等に対して安全性が高く、安心して暮らし続けられるまちづくりを推進します。

（4）こどもたちの夢を育み、希望をかなえるまち

→子どもたちがふるさとを愛し、自ら学び、自ら行動し、それぞれが思い描く夢や希望を実現できるよう、地域・家庭・学校が協力し合い、希望をかなえるまちづくりを推進します。

（5）手と手をつなぎ、誰ひとり取り残さないまち

→地域住民や本町にゆかりのある多様な主体が力を合わせて、ともに助け合い・支え合い、誰ひとり取り残さないまちづくりを推進します。

③ 基本目標

将来像実現を支える縦の柱

横の柱である「まちづくりの基調」とともに、分野ごとの方向性を示す6つの「基本目標」を設定しました。基本目標に基づいて施策を展開し、SDGsの達成、持続可能な地域社会の実現に繋がります。

- （1）ところを繋ぎ、みんなでつくるまちづくり（協働・人権・行財政経営）
- （2）地域の資源を活かし、いきいき働けるまちづくり（産業振興）
- （3）自然とともに、心地よく暮らせるまちづくり（自然・生活環境）
- （4）安全・安心な暮らしを守るまちづくり（防災・防犯）
- （5）助け合い、みんなで支えるまちづくり（健康・福祉）
- （6）地域に学び、ひとを育て、未来が輝くまちづくり（教育・文化）

分野ごとに施策を展開
持続可能な地域社会（SDGs）の実現へ

●各種団体等で計画について詳しく知りたい場合は、出前講座等による説明に伺います。

お問い合わせ先 企画調整課 ☎76-3807